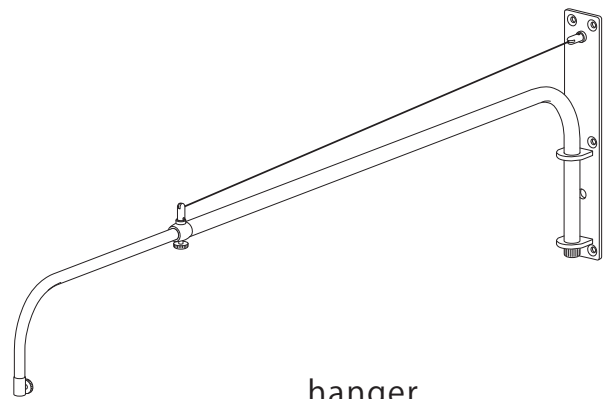


お客様へ

照明器具をご購入いただきありがとうございます。ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。必要なときにいつでも参照できるように保管してください。本製品の取り付けには電気工事士の資格が必要です。販売店・工事店にご依頼ください。

施工者様へ

施工後、本取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。





hanger

※本取扱説明書のイラストは実際の商品とは多少異なる場合があります。



安全上のご注意 必ずお守りください

正しく安全にお使いいただくために、お守りいただくことを説明します。本書では次の図記号を使用しています。









■誤った使い方による危害・損害の程度区分






-  **警告** 死亡または重傷を負うおそれがあること
-  **注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがあること

■図記号の意味




-  **禁止** してはいけないこと
-  **厳守** 必ず実行しなければならないこと

 **警告**

-  万一煙が出たり異臭がするなどの異常を感じたときは、速やかに電源を切る。火災、感電の原因となります。
-  電源工事は、必ず販売店・工務店(有資格者)に依頼する。一般の方が電気工事をするのは禁止されています。
-  交流 100 ボルトで使用する。
-  過電圧を加えると過熱し、電球の寿命が短くなったり、火災、感電の原因となります。
-  適合電球を使用する。
-  間違った種類、ワット数の電球を使用した場合、火災、感電の原因となります。
-  電球の交換やお手入れの際は電源を切る。感電の原因となります。
-  周囲温度 -5℃～35℃の範囲で使用する。

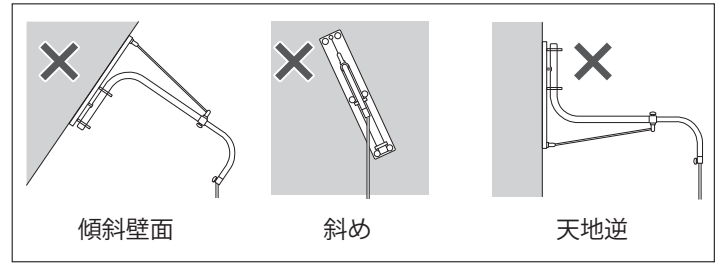
-  本器具の改造、部品交換をしない。火災、感電、落下の原因となります。
-  本器具は非防水です。浴室など湿気の多い所や屋外では使用しない。火災、感電の原因となります。
-  器具に荷重をかけたり、布や紙などの燃えやすい物で被わない。火災、感電の原因となります。
-  可動範囲以上に無理に動かさない。感電、故障、破損の原因となります。
-  電源コードに負荷をかけない。無理に引っ張ったり、コードをしぼったりしない。火災、感電、落下の原因となります。

 **注意**

-  定期的に掃除・点検を行う。照明器具には寿命があります。取り付けて10年程度経過すると内部の劣化が進行していきます。不具合を発見した場合は電源を切り、販売店・工事店に修理を依頼してください。
-  振動の多い場所では使用しない。火災、感電の原因となります。
-  ストープなど高温になる物を、本器具の真下に置かない。故障、火災の原因となります。
-  点灯中や消灯直後、本器具や電球に触らない。火傷の原因となります。

取付け上のご注意 取付け前に必ず確認してください

- 本器具は壁面取付け専用です。右図のような取付け方をしないでください。
火災・落下の原因となります。
- 取付け面の強度を確保してください。
取り付ける壁面が、器具の総重量に耐えられる補強があるか事前に確認してください。
- 本器具と組み合わせるペンダント照明の総重量は **2kg** までです。照明器具以外のものを取り付けたり、強い力で引っ張るなど過剰な荷重を掛けないでください。
落下による怪我の原因となります。
- 取付けは本説明書に従って確実に行ってください。
取付けに不備があると、火災、感電、落下の原因となります。

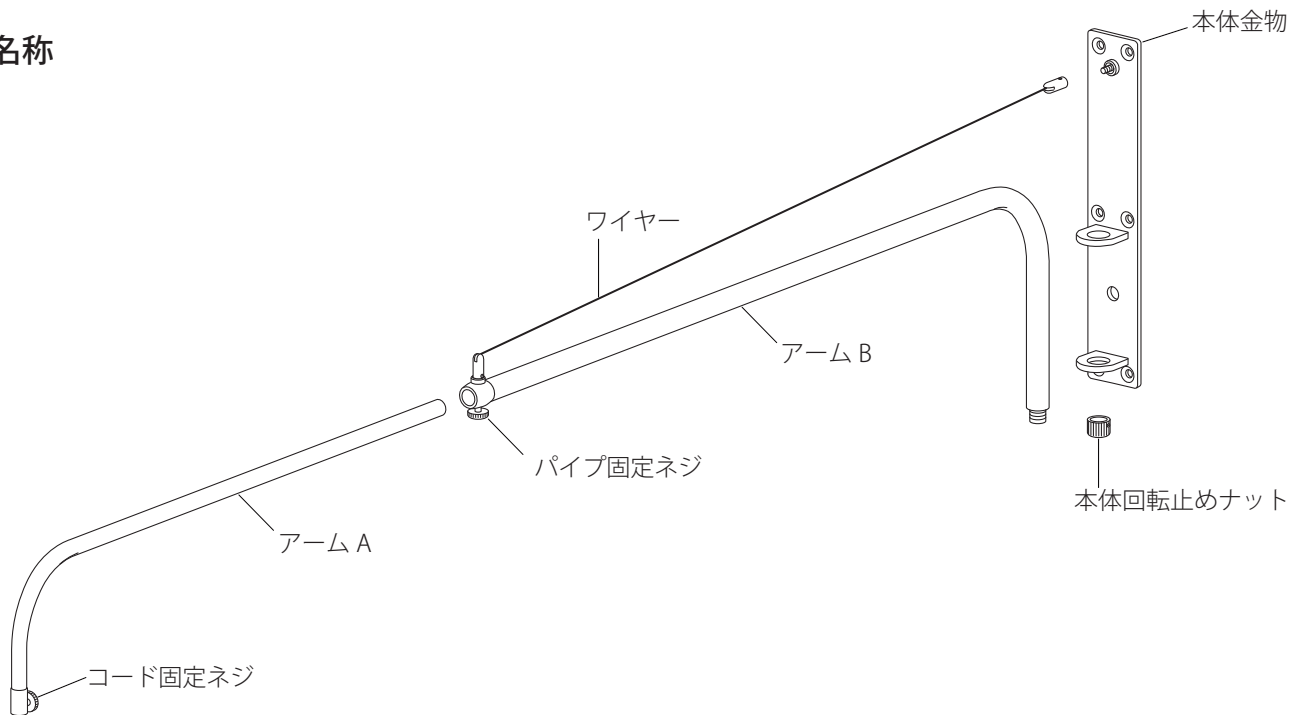


各部の名称と付属品

⚠ 注意 < 真鍮素材の取扱いについて >

hanger brass は真鍮素材のため、指紋や汚れがつきやすくなっています。
気になる方は手袋などを着用して作業してください。

■ 各部の名称



■ 付属品

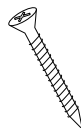
取付けの前に、付属のパーツをご確認ください。



本体回転止めナット
1個



六角レンチ
1本



木ネジ
6本

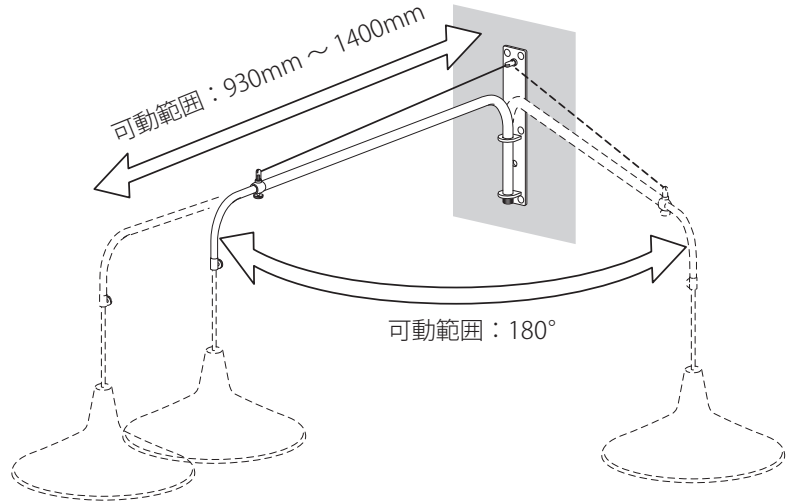


コードクリップ 1個
・直結仕様のみ使用

⚠ 注意

- アームに過度の外的な強い力が加わると、テコの原理で破損する恐れがあります。
- 器具破損の原因となるため、可動範囲を超える無理な可動はしないでください。

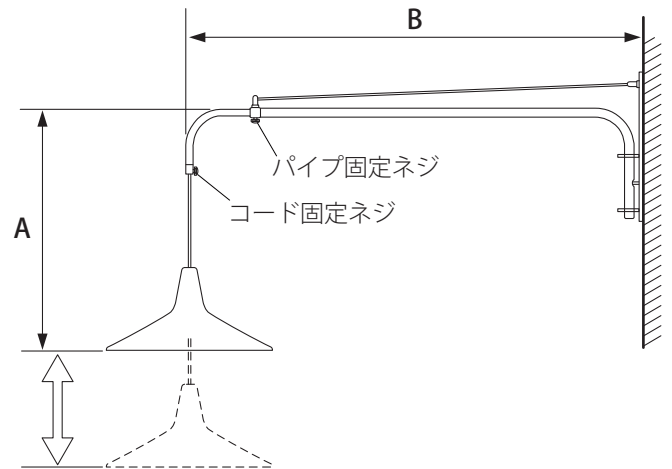
■ アーム可動範囲



■ コードとパイプの調整方法

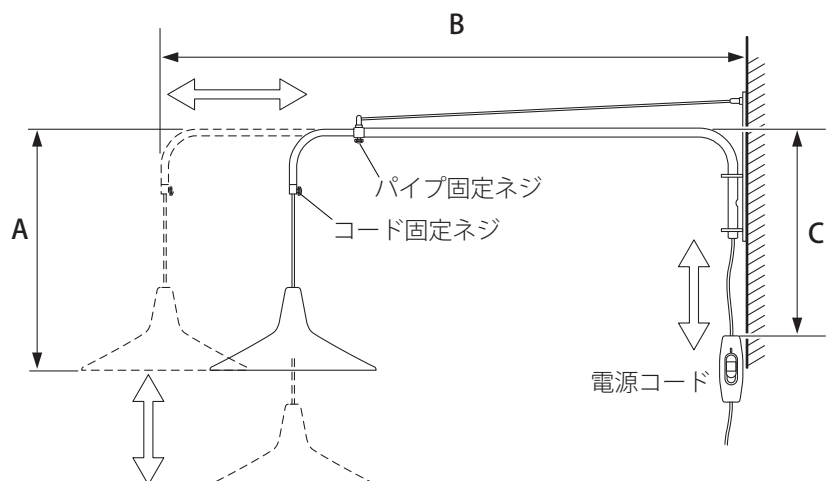
● 直結仕様の場合

A + Bのコード全長の範囲内で調整可能です。
Bを縮めるとAが伸び、Bを伸ばすとAが縮みます。



● コンセント仕様の場合

A + B + Cのコード全長の範囲内で自由に
変更できます。
Aを固定した状態でBを伸ばすとCが縮みます。
また、Bを固定した状態でAを縮めるとCが伸びます。



メンテナンス

⚠ 注意

- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因となります。器具が高温になっている場合は、少し時間が経ってから行ってください。
- 安全のために、6か月に1回程度、清掃・点検を行ってください。

■器具のお手入れ

素材や加工方法によってお手入れの仕方が異なりますのでご注意ください。

white / black

- シンナーやベンジンなどの揮発性のもの、スプレー式の洗剤は使用しないでください。
- かたく絞った布などで拭き、その後、乾いた布で乾拭きしてください。
- 洗剤を使う場合は中性洗剤を薄めたものを使用し、必ず最後に水拭きしてください。洗剤成分が残っているとシミになる場合があるので、しっかり拭き取ってください。
- お手入れには布やスポンジなど柔らかいものを使用し、金属製ブラシ、金ベラ、スチールウール、目の粗い紙やすりは使用しないでください。

brass

- シンナーやベンジンなどの揮発性のもの、スプレー式の洗剤は使用しないでください。
- 乾いた布やハタキなどでホコリを払い、やわらかい布で軽く拭いてください。
- シミや変色の原因となるため、水拭きや洗剤などは使用しないでください。
- 経年変化で生じたサビが気になる場合は、金属磨きクロスやサンドペーパー（300番程度）*でやさしく磨いて仕上げてください。

※一か所のみを磨くとそこだけ明るくなってしまうので、全体的に磨いてください。

* 3M スポンジ研磨剤 ファイン 粒度：#240～#320相当

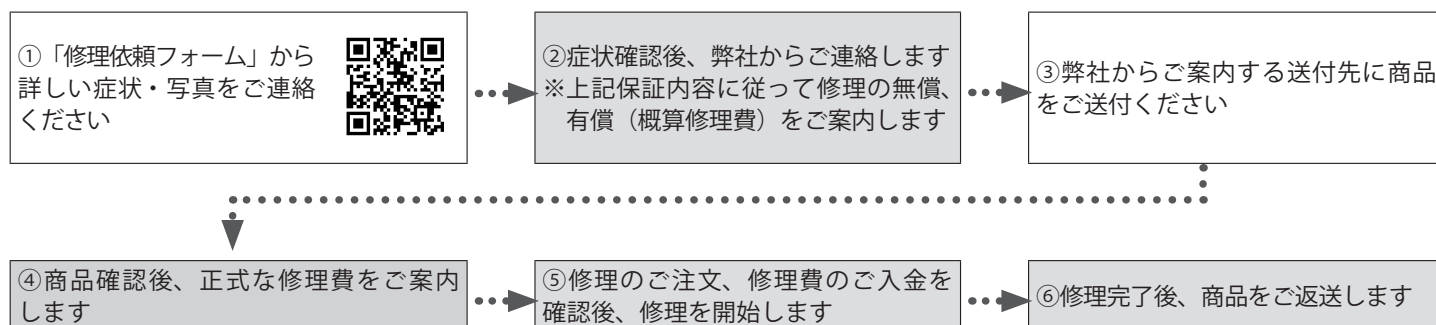
保証

保証期間	器具本体の保証期間はお届け日から1年間です。
保証内容	本取扱説明書に従った使用方法で保証期間中に生じた製造上の欠陥、不具合は無償修理いたします。
保証の免責事項	保証期間内でも次の場合には、原則として有償修理といたします。 ①使用方法の誤りや、修理・改造、部品交換による故障や損傷 ②取り付け場所の移動、落下などによる故障や損傷 ③施工上の不備による故障や不具合

※保証期間終了後、修理可能な場合はご要望により有償で修理いたします。

アフターサービス

器具本体アフターサービスの流れ



※廃棄する際は、地方自治体の決まりに従ってください。

組立て方法 / 直結仕様

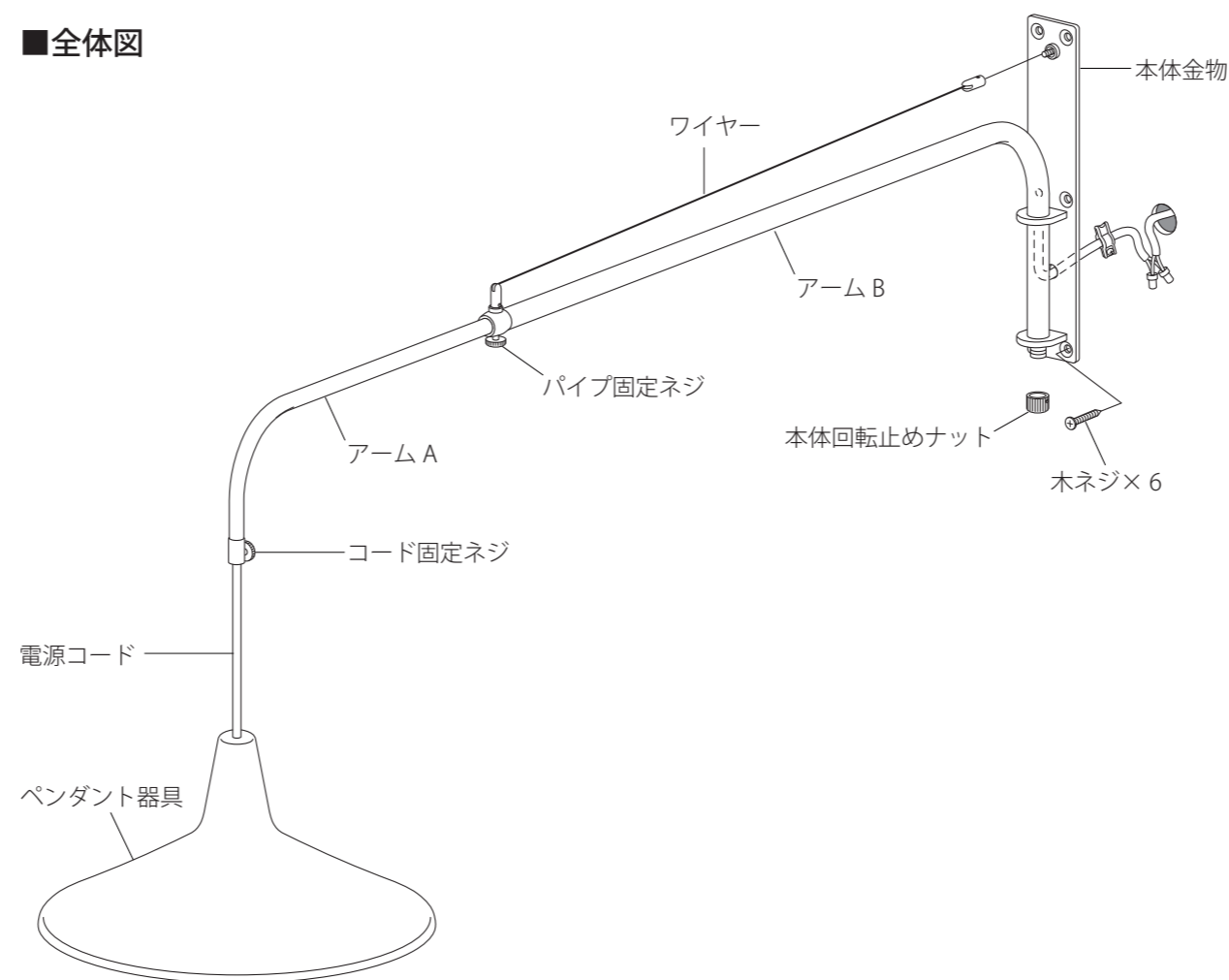
警告

- 電気工事士の資格が必要です。販売店・工事店に依頼してください。
- 安全のため、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 電源の接続は確実に、電線が器具に触れないようにしてください。
- 補強下地のある場所に、付属の木ネジを使用して取り付けてください。

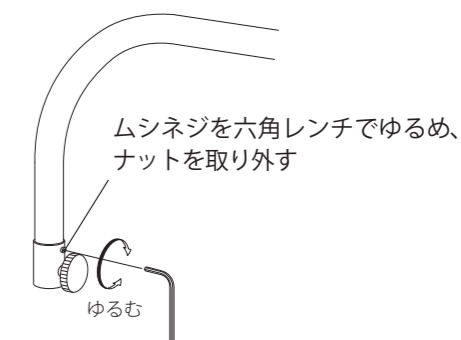
組立て前の準備

ペンダントには引掛けシーリングボディ・キャップ、フランジカップが付属しているため、事前にを取り外してください。

全体図

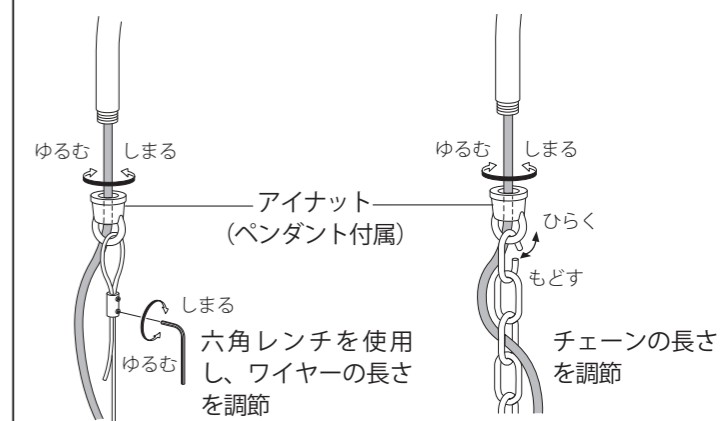


<ワイヤー吊り、チェーン吊りペンダントの場合>
アーム先端のナットを付属のアイナットに付け替える



●ワイヤー吊り仕様

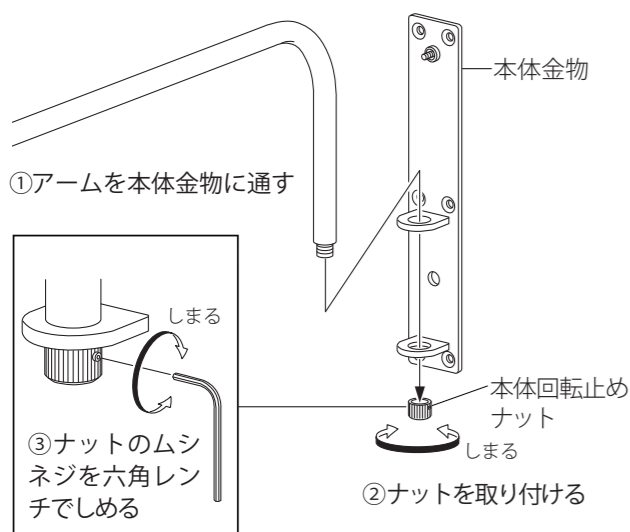
●チェーン吊り仕様



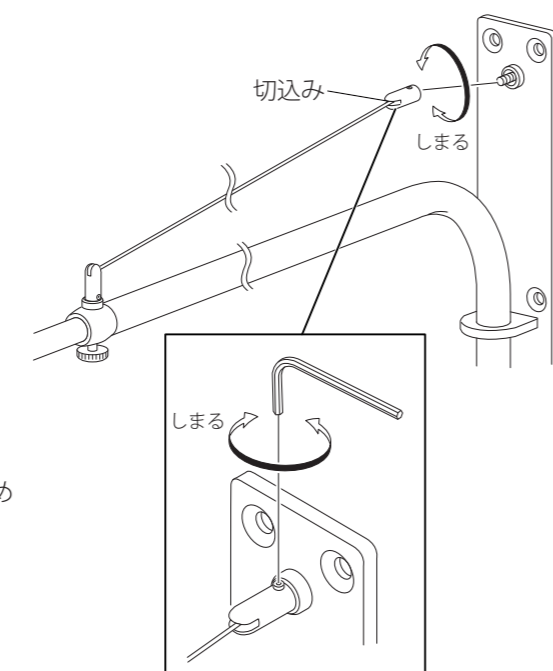
組立て手順

1 アーム A とアーム B をつなげる。

2 アームを本体金物に取り付ける。

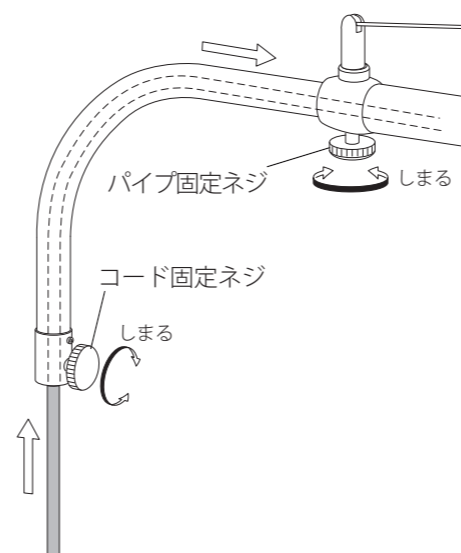


3 ワイヤーを本体金物に取り付ける。



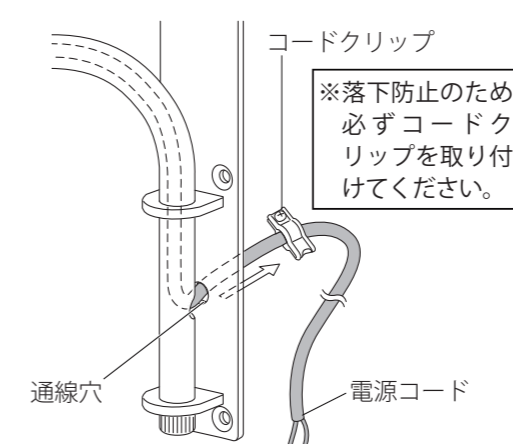
※ワイヤーのネジの切込みは必ず横向きに取り付けてください。横向きでない場合、アームが左右に旋回できません。

4 電源コードをアームに通し、吊り寸法、アーム寸法を調整する。調整後、パイプ固定ネジ、コード固定ネジをしめる。



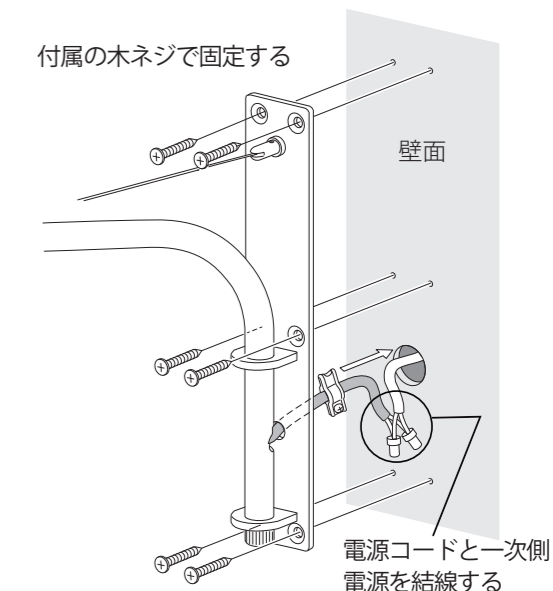
5 電源コードをアームと本体金物の通線穴に通し、コードクリップを取り付ける。

①ポイント
後で吊り寸法、アーム寸法を変更する場合は、電源コードを長めに残してください。(壁内に収め、結線してください。)



6 一次側電源とペンダントの電源コードを結線し、本体金物を壁面に取り付ける。

①注意
● 補強下地のある場所に取り付けてください。
● アームが勝手に旋回することを防ぐため、本体金物は必ず平行に取り付けてください。



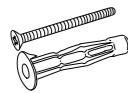
①ポイント
アームの向きを固定したい場合は、ナットを強くしめてください。

組立て方法／コンセント仕様

警告

- 安全のため、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 電源の接続は確実に、電線が器具に触れないようにしてください。
- 補強下地のある場所に取り付けるか、補強がない場合は付属のボードアンカーとビスで取り付けてください。

コンセント仕様用付属品



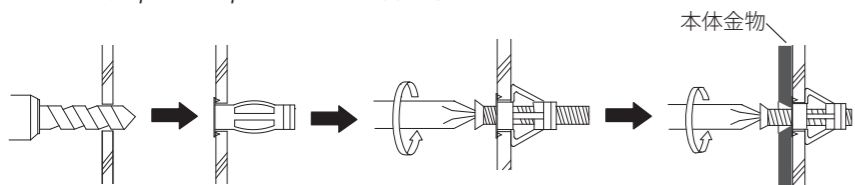
ボードアンカー、ビス 6セット
※補強下地がない場合にのみ使用



中間スイッチ～コンセントプラグ
1セット

ボードアンカーの取付け方法

- ・下穴径φ 8.0～φ 9.0
- ・適合壁厚 7mm～14mm



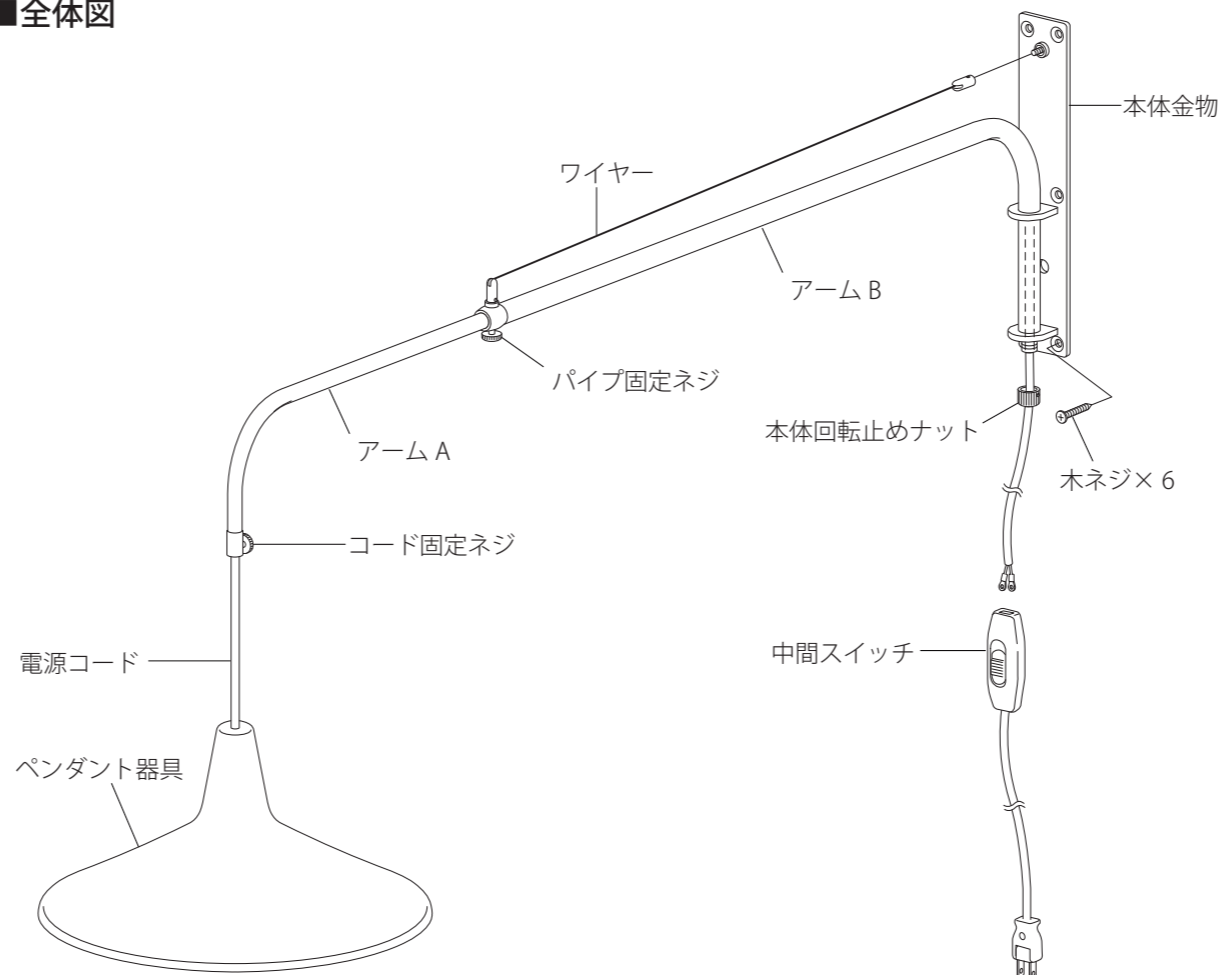
ドリルなどで石膏ボードに下穴を開ける

壁とフラットになるまでボードアンカーを差し込む

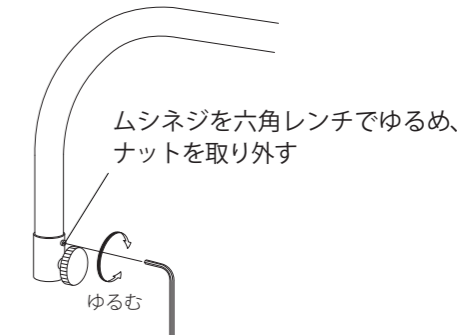
付属ビスを時計回りに回し、壁裏のボードアンカーが開いて壁に固定できたか確認する

一旦付属ビスをボードアンカーから外し、本体金物を固定する

全体図

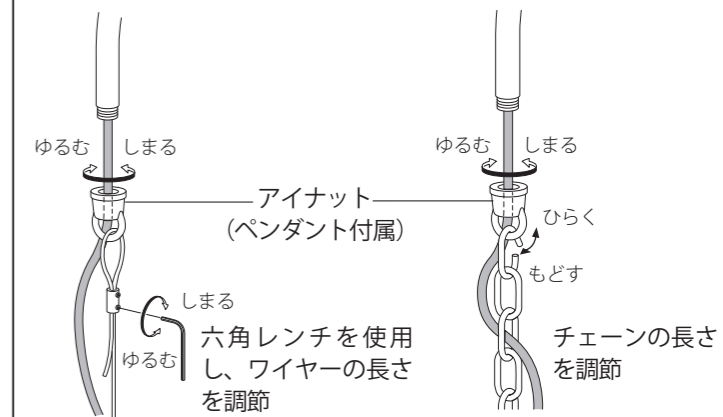


<ワイヤー吊り、チェーン吊りペンダントの場合>
アーム先端のナットを付属のアイナットに付け替える



●ワイヤー吊り仕様

●チェーン吊り仕様



組立て手順

1 アーム A とアーム B をつなげる。

3 ワイヤーを本体金物に取り付ける。

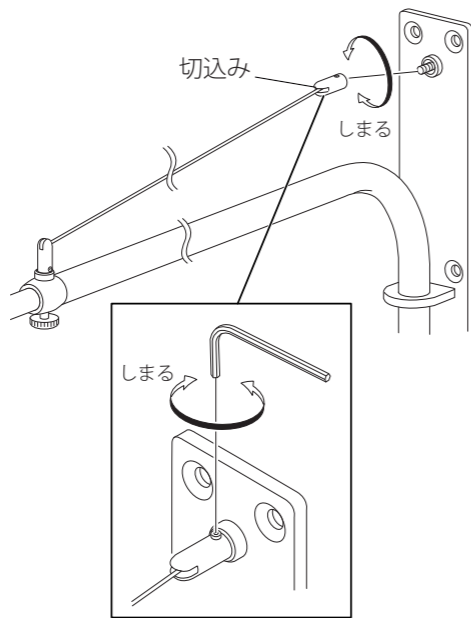
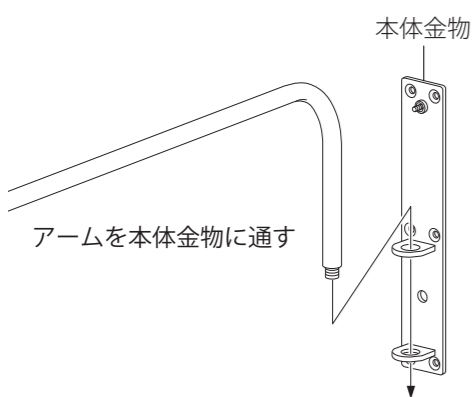
4 電源コードをアームに通し、吊り寸法、アーム寸法を調整する。調整後、パイプ固定ネジ、コード固定ネジをしめる。

5 アームに本体回転止めナットを取り付ける。

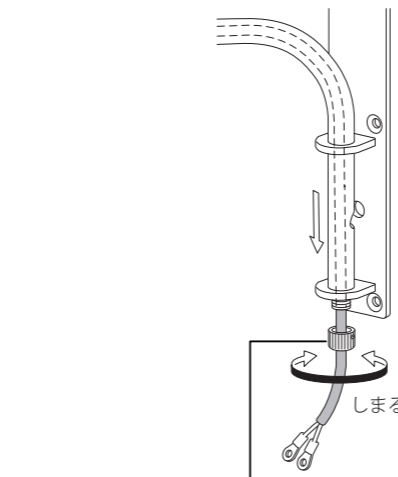
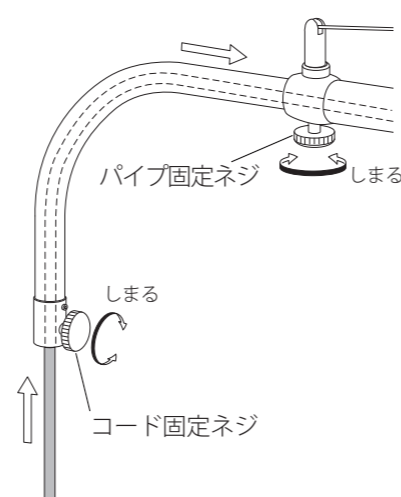
6 本体金物を壁面に取り付ける。

7 電源コードの先に中間スイッチを取り付ける。

2 アームを本体金物に取り付ける。



※ワイヤーのネジの切込みは必ず横向きに取り付けてください。横向きでないとアームが左右に回転できません。



注意

- 補強下地のある場所に取り付けてください。
- アームが勝手に旋回することを防ぐため、本体金物は必ず平行に取り付けてください。

付属の木ネジで固定する

